

注3

大学番号：040

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

山梨大学大学院 医工農学総合教育部
医学専攻 (博士課程)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人山梨大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画課
職名・氏名	イッパンシヨクイン 一般職員 ・ サイトウ ショウ 齋藤 将
電話番号	055-220-8014
(夜間)	055-220-8014
F A X	055-220-8799
e-mail	kikaku@yamanashi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医工農学総合教育部

<医学専攻（博士課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 山梨大学

(2) 大学名

山梨大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒409-3898 (〒400-8510)

山梨県中央市下河東1110 (山梨県甲府市武田4-4-37)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(シマダ シンジ) 島田 眞路 (平成27年4月1日)	(平成31年4月1日)	学長再任に伴う変更 (元) 平成31年4月1日
理事 (教学担当)	(ホリ テツオ) 堀 哲夫 (平成27年4月1日)	(ムラマツ トシオ) 村松 俊夫 (平成31年4月1日)	理事就任に伴う変更 (元) 平成31年4月1日
専攻長	(ミヤザワ ケイジ) 宮澤 恵二 (平成30年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
医工農学総合教育部 医学専攻（博士課程） 博士（医学）	医学関係	4年	20人	年次人	80人	基礎となる学部等 医学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	20人 (-) [-]	-人	20人 (-) [-]	-人	20人 (-) [-]	-人	-人 (-) [-]	-人	1.40倍	-	
志願者数	28 (-) [2]	- (-) [-]	35 (-) [7]	- (-) [-]	28 (-) [8]	- (-) [-]	() () []	() () []			
受験者数	27 (-) [2]	- (-) [-]	34 (-) [6]	- (-) [-]	28 (-) [8]	- (-) [-]	() () []	() () []			
合格者数	26 (-) [2]	- (-) [-]	34 (-) [6]	- (-) [-]	28 (-) [8]	- (-) [-]	() () []	() () []			
B 入学者数	26 (-) [2]	- (-) [-]	31 (-) [4]	- (-) [-]	27 (-) [7]	- (-) [-]	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.30		1.55		1.35						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	26 [2] (-)	- [-] (-)	31 [4] (-)	- [-] (-)	28 [7] (1)	- [-] (-)			
2年次	/		25 [2] (-)	- [-] (-)	32 [4] (2)	- [-] (-)			
3年次			/		/		23 [2] (-)	- [-] (-)	
4年次	/						/		
計			26 [2] (-)		56 [6] (-)				83 [13] (3)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	26 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	57 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	家庭の事情(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	83 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{57} = \boxed{1.75} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	外科的画像診断学特論	1前		4		1						
	外科的画像診断学演習	1後		6		1		1				
	外科的画像診断学実験	2通		8		1						
	診療支援システム特論	1前		4		1						
	診療支援システム演習	1後		6		1						
	診療支援システム実験	2通		8		1						
	救急集中治療医学特論	1前		4		1						
	救急集中治療医学演習	1後		6		1						
	救急集中治療医学実験	2通		8		1						
	麻酔管理法特論	1前		4		1						
	麻酔管理法演習	1後		6		1		1				
	麻酔管理法実験	2通		8		1						
	呼吸循環学特論	1前		4			1					
	呼吸循環学演習	1後		6			1					
	呼吸循環学実験	2通		8			1					
	非線形解析学特論	1前		4		1						
	非線形解析学演習	1後		6		1						
	非線形解析学実験	2通		8		1						
	臨床疫学特論	1前		4			1					
	臨床疫学演習	1後		6			1	1				
臨床疫学実験	2通		8			1						
臨床薬理学特論	1前		4		1							
臨床薬理学演習	1後		6		1							
臨床薬理学実験	2通		8		1							
臨床研究の実際特論	1前		4		1							
臨床研究の実際演習	1後		6		1							
臨床研究の実際実験	2通		8		1							
小計(126科目)												
関連科目	食品加工・栄養学特論	1前		2								2
	応用生体防御学特論	1前		2								1
	臨床生殖医学特論	1前		2								1
	生活健康学特論	1前		2								1
	国際環境技術特論	1前		1								3
小計(5科目)												
合計(152科目)												
卒業要件及び履修方法												
大学院共通科目から2単位、医学・看護学共通科目の必修科目から3単位、専門科目の選択必修科目から特論4単位、演習0単位、実験0単位、医学・看護共通科目、医学科科目及び関連科目の選択科目から7単位以上を修得し、30単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:なし)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	外科的画像診断学特論	1前		4		1						
	外科的画像診断学演習	1後		6		1		1	2			
	外科的画像診断学実験	2通		8		1						
	診療支援システム特論	1前		4		1						
	診療支援システム演習	1後		6		1						
	診療支援システム実験	2通		8		1						
	救急集中治療医学特論	1前		4		1						
	救急集中治療医学演習	1後		6		1						
	救急集中治療医学実験	2通		8		1						
	麻酔管理法特論	1前		4		1						
	麻酔管理法演習	1後		6		1		1				
	麻酔管理法実験	2通		8		1						
	呼吸循環学特論	1前		4			1					
	呼吸循環学演習	1後		6			1					
	呼吸循環学実験	2通		8			1					
	非線形解析学特論	1前		4		1						
	非線形解析学演習	1後		6		1						
	非線形解析学実験	2通		8		1						
	臨床疫学特論	1前		4			1					
	臨床疫学演習	1後		6			1		2			
臨床疫学実験	2通		8			1		1				
臨床薬理学特論	1前		4		1							
臨床薬理学演習	1後		6		1							
臨床薬理学実験	2通		8		1							
臨床研究の実際特論	1前		4		1							
臨床研究の実際演習	1後		6		1							
臨床研究の実際実験	2通		8		1							
小計(126科目)												
関連科目	食品加工・栄養学特論	1前		2								2
	応用生体防御学特論	1前		2								1
	臨床生殖医学特論	1前		2								1
	生活健康学特論	1前		2								1
	国際環境技術特論	1前		2								4
小計(5科目)												
合計(152科目)												
卒業要件及び履修方法												
大学院共通科目から2単位、医学・看護学共通科目の必修科目から3単位、専門科目の選択必修科目から特論4単位、演習0単位、実験0単位、医学・看護共通科目、医学科科目及び関連科目の選択科目から7単位以上を修得し、30単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:なし)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	食品加工・栄養学特論	1前		2								2
	応用生体防御学特論	1前		2								1
	臨床生殖医学特論	1前		2								1
	生活健康学特論	1前		2								1
	国際環境技術特論	1前		2								3
	小計(5科目)											
合計(152科目)												
卒業要件及び履修方法												
大学院共通科目から2単位、医学・看護学共通科目の必修科目から3単位、専門科目の選択必修科目から特論4単位、演習6単位、実験8単位、医学・看護共通科目、医学科科目及び関連科目の選択科目から7単位以上を修得し、30単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:なし)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目	食品加工・栄養学特論	1前		2								2
	応用生体防御学特論	1前		2								1
	臨床生殖医学特論	1前		2								1
	生活健康学特論	1前		2								1
	国際環境技術特論	1前		2								3
	小計(5科目)											
合計(152科目)												
卒業要件及び履修方法												
大学院共通科目から2単位、医学・看護学共通科目の必修科目から3単位、専門科目の選択必修科目から特論4単位、演習6単位、実験8単位、医学・看護共通科目、医学科科目及び関連科目の選択科目から7単位以上を修得し、30単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:なし)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・研究教育拡充のため、「肝病態医学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「シグナル伝達研究演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の辞職、昇任により「腎臓内科学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「下部尿路機能障害特論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1・兼任1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「下部尿路機能障害演習」の専任教員等の配置を「講師2・兼任1」から「准教授1・講師2・兼任1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「下部尿路機能障害実験」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「循環器生物学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「消化器手術後の再建演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「外科的画像診断学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床疫学演習」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1」から「准教授2」に変更。
- ・教育内容充実のため、「国際環境技術特論」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の辞職、就任により「生命倫理学特論」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1・兼任1」から「教授1・講師1・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「基礎腫瘍学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・兼任1」から「教授3・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「臨床腫瘍学特論」の専任教員等の配置を「教授1・准教授2・兼任1」から「教授2・准教授1・兼任1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「構造生物学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「内分沁病理学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「内分沁病理学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「内分沁病理学実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「腎臓内科学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「小児血液学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任、研究教育拡充により、「小児血液学演習」の専任教員等の配置を「准教授1・講師2」から「教授1・講師3」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「小児血液学実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の辞職、就任により「老年精神医学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の辞職、就任及び研究教育拡充により「老年精神医学演習」の専任教員等の配置を「准教授1・講師1」から「教授1・講師2」に変更。
- ・担当教員の辞職、就任により「老年精神医学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「消化器手術後の再建演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「運動器再建術演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・講師2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「顎口腔領域再建術演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・講師2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「視機能障害疾患演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1・講師2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「外科的画像診断学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・講師2」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「免疫学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「血液内科学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の定年退職により、「内分沁障害特論」「視覚障害演習」「視覚障害実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の定年退職により、「上気道粘膜免疫・アレルギー学特論」「上気道粘膜免疫・アレルギー学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の定年退職により、「上気道粘膜免疫・アレルギー学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「講師1」に変更。

【令和2年度】

- ・担当教員の辞職により、「医工農総合特論」の専任教員等の配置を「教授1・兼任5」から「教授1・兼任4」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「医療情報学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1・兼任1」から「教授3・兼任1」に変更。
- ・担当教員の就任により、「免疫学特論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の辞職、研究教育拡充のため、「再生・再建医学特論」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1」から「教授3・講師1」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「生体管理・治療学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員の辞職、研究教育拡充のため、「画像診断医学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授2」から「教授2・講師1」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「応用免疫学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の就任により、「上気道粘膜免疫・アレルギー学特論」「上気道粘膜免疫・アレルギー学実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の就任、研究教育充実のため、「上気道粘膜免疫・アレルギー学演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1・講師2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「血管生物学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・准教授1・講師2」に変更。
- ・担当教員の異動により、「循環病態学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「内分沁病理学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の辞職、研究教育拡充のため、「腎臓内科学特論」「腎臓内科学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「腎臓内科学演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」を「准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「下部尿路機能障害特論」「下部尿路機能障害実験」の専任教員等の配置を「准教授1・兼任1」から「教授1・兼任1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「下部尿路機能障害演習」の専任教員等の配置を「准教授1・講師2・兼任1」から「教授1・講師2・兼任1」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「小児血液学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師3」から「教授1・講師2」に変更。
- ・研究教育拡充のため、「消化器手術後の再建演習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・准教授1・講師2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「顎口腔領域再建術演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の就任により、「視覚障害特論」「視覚障害実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「視機能障害疾患特論」「視機能障害疾患実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任、辞職により、「視機能障害疾患演習」の専任教員等の配置を「准教授1・講師2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の辞職により、「放射線診断学特論」「放射線診断学演習」「放射線診断学実験」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の就任辞職、研究教育拡充のため、「国際環境技術特論」の専任教員等の配置を「兼任3」から「兼任2・兼任2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計		
5	147	0	152	5	147	0	152		
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]		

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	放射線診断学特論	4	1年前期	専門	選択	担当教員が退職のため、後任未定だが就任の際には専任教員として担当する。
2	放射線診断学演習	6	1年後期	専門	選択	担当教員が退職のため、後任未定だが就任の際には専任教員として担当する。
3	放射線診断学実験	8	2年通年	専門	選択	担当教員が退職のため、後任未定だが就任の際には専任教員として担当する。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 自己都合退職者（1名）の担当科目は、後任未定だが、就任の際は専任教員として担当する。また、学生は指導教員が担当する科目を受講することになっており、退職時に指導教員になっている学生がいなかったため履修上は問題ないとする。なお、次年度については、募集要項に記載されている指導教員一覧から退職者は削除するので履修する学生はいないとする。
- ・ 学生に対しては、ガイダンス等で周知済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{152} = \boxed{1.97} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	土地の購入及び売却の ため(2) 駐車場の新設及び廃 止、土地売却のため (元)		
	校 舎 敷 地	242,184㎡ 243,541㎡	0㎡	0㎡	242,184㎡ 243,541㎡			
	運 動 場 用 地	73,302㎡	0㎡	0㎡	73,302㎡			
	小 計	315,486㎡ 316,843㎡	0㎡	0㎡	315,486㎡ 316,843㎡			
	そ の 他	253,792㎡ 252,832㎡ 252,708㎡	0㎡	0㎡	253,792㎡ 252,832㎡ 252,708㎡			
	合 計	569,278㎡ 568,318㎡ 569,551㎡	0㎡	0㎡	569,278㎡ 568,318㎡ 569,551㎡			
(2) 校 舎	専 用	133,563㎡ 132,992㎡ (133,563㎡) (132,992㎡)	0㎡	共用する他の 学校等の専用 (0㎡)	計 133,563㎡ 132,992㎡ (133,563㎡) (132,992㎡)	施設の新設及び面積修 正のため(元)		
	共 用	(0㎡)	(0㎡)	(0㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	69室 70室 111室	演 習 室 51室 53室 28室	実験実習室 152室 202室	情報処理学習施設 4室 7室 (補助職員 人)	語学学習施設 0室 1室 (補助職員 人)	用途変更のため(元・ 2)	
	新設学部等の名称	室 数						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		室名称変更のため (元・2)		
	医工農学総合教育部 医学専攻(博士課程)			121 169 147	室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	○図書：購入数が廃棄 数を上回ったため (2) ○学術雑誌・電子 ジャーナル契約パッ ッケージの変更(増加) のため(2) ○図書：蔵書の整理に より、廃棄数が購入数 を上回ったため(元) ○学術雑誌・電子 ジャーナル：購読中 止・廃棄等による減少 及びH31.4月より電子 ジャーナルパッケージ の追加のため(元) ○視聴覚資料：新規購 入のため(元・2) ○機械・器具：更新・ 廃棄などの設備整理の ため(元・2)
	医学専攻 (博士課程)	563,780 [166,079] 560,339 [166,154] 564,362 [167,701] (563,780 [166,079]) (560,339 [166,154]) (564,362 [167,701])	42,746 [33,221] 41,777 [32,318] 25,224 [15,769] (42,746 [33,221]) (41,777 [32,318]) (25,224 [15,769])	29,398 [29,398] 28,520 [28,520] 11,986 [11,985] (29,398 [29,398]) (28,520 [28,520]) (11,986 [11,985])	5,073 5,014 4,972 (5,073) (5,014) (4,972)	8,034 7,854 8,217 (8,034) (7,854) (8,217)	14 (14)	
	計	563,780 [166,079] 560,339 [166,154] 564,362 [167,701] (563,780 [166,079]) (560,339 [166,154]) (564,362 [167,701])	42,746 [33,221] 41,777 [32,318] 25,224 [15,769] (42,746 [33,221]) (41,777 [32,318]) (25,224 [15,769])	29,398 [29,398] 28,520 [28,520] 11,986 [11,985] (29,398 [29,398]) (28,520 [28,520]) (11,986 [11,985])	5,073 5,014 4,972 (5,073) (5,014) (4,972)	8,034 7,854 8,217 (8,034) (7,854) (8,217)	14 (14)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	7,055㎡		523		576,445			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	2,743㎡		野球場2面 テニスコート17面		小体育館、武道場、弓道場、 プールほか			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地に別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	山梨大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学部											
学校教育課程	4	125	-	500	学士(教育)	1.05	1.07	-	平成10	山梨県甲府市武田4-4-37	
医学部											
医学科	6	125	-	750	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和55	山梨県中央市下河東1110	
看護学科	4	60	-	240	学士(看護学)	0.92	1.00	-	平成7	山梨県中央市下河東1110	
工学部											
機械工学科	4	55	3年次 10	240	学士(工学)	0.98	0.96	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
ロボット工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.02	1.07	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	令和2年度より学科名称変更
電気電子工学科	4	55	3年次 5	230	学士(工学)	1.01	0.98	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
コンピュータ理工学科	4	55	3年次 5	230	学士(工学)	0.99	0.98	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
土木環境工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.06	1.07	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
応用化学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.02	0.98	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
先端材料理工学科	4	35	-	140	学士(工学)	1.05	1.00	-	平成24	山梨県甲府市武田4-3-11	
生命環境学部											
生命工学科	4	35	-	140	学士(生命工学)	1.02	1.05	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
地域食物科学科	4	37	-	148	学士(農学)	1.00	0.97	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
環境科学科	4	30	-	120	学士(環境科学)	1.05	1.06	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
地域社会システム学科	4	48	-	192	学士(社会科学)	1.01	0.97	-	平成24	山梨県甲府市武田4-4-37	
大学全体	-	825	20	3,590	-	-	1.01	-	-	-	

大学の名称	山梨大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
教育学研究科											
教育実践創成専攻	2	38	-	76	教職修士(専門職)	0.98	1.05	-	平成22	山梨県甲府市武田4-4-37	令和元年度より入学定員14人→38人
医工農学総合教育部											
【修士課程】											
生命医科学専攻	2	10	-	20	修士(医科学)	1.30	1.60	-	平成28	山梨県中央市下河東1110	
看護学専攻	2	14	-	28	修士(看護学)	0.60	0.57	-	平成28	山梨県中央市下河東1110	
工学専攻	2	181	-	362	修士(工学)	0.88	0.81	-	平成28	山梨県甲府市武田4-3-11	
生命環境学専攻	2	45	-	90	修士(農学) 修士(学術)	0.95	0.86	-	平成28	山梨県甲府市武田4-4-37	
【博士課程】											
医学専攻	4	20	-	80	博士(医学)	1.40	1.35	-	平成30	山梨県中央市下河東1110	
工学専攻	3	23	-	69	博士(工学) 博士(学術)	0.96	0.39	-	平成30	山梨県甲府市武田4-3-11	
統合応用生命科学専攻	3	10	-	30	博士(農学) 博士(生命医科学) 博士(生命工学)	1.23	1.20	-	平成30	山梨県甲府市武田4-4-37 及び 山梨県中央市下河東1110	
ヒューマンヘルスケア学専攻	3	4	-	12	博士(看護学)	0.91	1.00	-	平成15	山梨県中央市下河東1110	
先進医療科学専攻	4	-	-	-	博士(医学)	1.23	-	-	平成15	山梨県中央市下河東1110	平成30年度より学生募集停止
生体制御学専攻	4	-	-	-	博士(医学)	0.40	-	-	平成15	山梨県中央市下河東1110	平成30年度より学生募集停止
大学院全体	-	345	-	767	-	-	0.98	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医工農学総合教育部 医学専攻（博士課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	小田 賢幸 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 構造生物学特論 構造生物学演習 構造生物学実験	専	教授	小田 賢幸 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 構造生物学特論 構造生物学演習 構造生物学実験	専	教授	小田 賢幸 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 構造生物学特論 構造生物学演習 構造生物学実験	専	教授	小田 賢幸 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 構造生物学特論 構造生物学演習 構造生物学実験
専	教授	竹田 扇 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 神経細胞生物学特論 神経細胞生物学演習 神経細胞生物学実験	専	教授	竹田 扇 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 神経細胞生物学特論 神経細胞生物学演習 神経細胞生物学実験	専	教授	竹田 扇 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 神経細胞生物学特論 神経細胞生物学演習 神経細胞生物学実験	専	教授	竹田 扇 <平成30年4月> 博士(医学) 神経科学特論 神経細胞生物学特論 神経細胞生物学演習 神経細胞生物学実験
専	教授	宮澤 恵二 <平成30年4月> 薬学博士 基礎腫瘍学特論 細胞生化学特論 細胞生化学演習 細胞生化学実験	専	教授	宮澤 恵二 <平成30年4月> 薬学博士 基礎腫瘍学特論 細胞生化学特論 細胞生化学演習 細胞生化学実験	専	教授	宮澤 恵二 <平成30年4月> 薬学博士 基礎腫瘍学特論 細胞生化学特論 細胞生化学演習 細胞生化学実験	専	教授	宮澤 恵二 <平成30年4月> 薬学博士 基礎腫瘍学特論 細胞生化学特論 細胞生化学演習 細胞生化学実験
専	教授	範 江林 <平成30年4月> 博士(医学) 循環器生物医学特論 循環分子病理学特論 循環分子病理学演習 循環分子病理学実験	専	教授	範 江林 <平成30年4月> 博士(医学) 循環器生物医学特論 循環分子病理学特論 循環分子病理学演習 循環分子病理学実験	専	教授	範 江林 <平成30年4月> 博士(医学) 循環器生物医学特論 循環分子病理学特論 循環分子病理学演習 循環分子病理学実験	専	教授	範 江林 <平成30年4月> 博士(医学) 循環器生物医学特論 循環分子病理学特論 循環分子病理学演習 循環分子病理学実験
専	教授	森石 恒司 <平成30年4月> 博士(獣医学) 肝病態医学特論 感染症防御機構特論 感染症防御機構演習 感染症防御機構実験	専	教授	森石 恒司 <平成30年4月> 博士(獣医学) 肝病態医学特論 感染症防御機構特論 感染症防御機構演習 感染症防御機構実験	専	教授	森石 恒司 <平成30年4月> 博士(獣医学) 肝病態医学特論 感染症防御機構特論 感染症防御機構演習 感染症防御機構実験	専	教授	森石 恒司 <平成30年4月> 博士(獣医学) 肝病態医学特論 感染症防御機構特論 感染症防御機構演習 感染症防御機構実験
専	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) 医工農総合特論 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 免疫学特論 シグナル伝達研究特論 シグナル伝達研究演習 シグナル伝達研究実験	専	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) 医工農総合特論 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 免疫学特論 シグナル伝達研究特論 シグナル伝達研究演習 シグナル伝達研究実験	専	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) 医工農総合特論 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 免疫学特論 シグナル伝達研究特論 シグナル伝達研究演習 シグナル伝達研究実験	専	教授	中尾 篤人 <平成30年4月> 博士(医学) 医工農総合特論 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 免疫学特論 シグナル伝達研究特論 シグナル伝達研究演習 シグナル伝達研究実験
専	教授	安達 登 <平成30年4月> 博士(医学) 分子医科学特論 法医学特論 法医学演習 法医学実習	専	教授	安達 登 <平成30年4月> 博士(医学) 分子医科学特論 法医学特論 法医学演習 法医学実習	専	教授	安達 登 <平成30年4月> 博士(医学) 分子医科学特論 法医学特論 法医学演習 法医学実習	専	教授	安達 登 <平成30年4月> 博士(医学) 分子医科学特論 法医学特論 法医学演習 法医学実習
専	教授	榎本 信幸 <平成30年4月> 医学博士 肝病態医学特論 肝炎ウイルス病態学特論 肝炎ウイルス病態学演習 肝炎ウイルス病態学実験	専	教授	榎本 信幸 <平成30年4月> 医学博士 肝病態医学特論 肝炎ウイルス病態学特論 肝炎ウイルス病態学演習 肝炎ウイルス病態学実験	専	教授	榎本 信幸 <平成30年4月> 医学博士 肝病態医学特論 肝炎ウイルス病態学特論 肝炎ウイルス病態学演習 肝炎ウイルス病態学実験	専	教授	榎本 信幸 <平成30年4月> 医学博士 肝病態医学特論 肝炎ウイルス病態学特論 肝炎ウイルス病態学演習 肝炎ウイルス病態学実験
専	教授	久木山 清貴 <平成30年4月> 医学博士 循環病態学特論 循環病態学演習 循環病態学実験	専	教授	久木山 清貴 <平成30年4月> 医学博士 循環病態学特論 循環病態学演習 循環病態学実験	専	教授	久木山 清貴 <平成30年4月> 医学博士 循環病態学特論 循環病態学演習 循環病態学実験	専	教授	久木山 清貴 <平成30年4月> 医学博士 循環病態学特論 循環病態学演習 循環病態学実験
専	教授	北村 健一郎 <平成30年4月> 博士(医学) 腎病態医学特論 腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 腎臓内科学実験	専	教授	北村 健一郎 <平成30年4月> 博士(医学) 腎病態医学特論 腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 腎臓内科学実験						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授	瀧山 嘉久 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		脳病態医学特論 神経内科学特論 神経内科学演習 神経内科学実験						瀧山 嘉久 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	桐戸 敬太 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		臨床腫瘍学特論 血液内科学特論 血液内科学演習 血液内科学実験						桐戸 敬太 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	中島 博之 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		画像診断医学特論 外科の画像診断学特論 外科の画像診断学演習 外科の画像診断学実験						中島 博之 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	波呂 浩孝 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		再生・再建医学特論 運動器官再建術特論 運動器官再建術演習 運動器官再建術実験						波呂 浩孝 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	木内 博之 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		脳病態医学特論 脳神経外科学特論 脳神経外科学演習 脳神経外科学実験						木内 博之 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	松川 隆 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		生体管理・治療学特論 麻酔管理法特論 麻酔管理法演習 麻酔管理法実験						松川 隆 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	平田 修司 <平成30年4月> 医学博士	専	教授	専	教授	専	教授
		再生・再建医学特論 分子生殖医学特論 分子生殖医学演習 分子生殖医学実験						平田 修司 <平成30年4月> 医学博士
専	教授	飯島 裕幸 <平成30年4月> 医学博士	専	教授	専	教授	専	教授
		視覚障害特論 視覚障害演習 視覚障害実験						飯島 裕幸 <平成30年4月> 医学博士
専	教授	増山 敬祐 <平成30年4月> 医学博士	専	教授	専	教授	専	教授
		上気道粘膜免疫・アレルギー学特論 上気道粘膜免疫・アレルギー学演習 上気道粘膜免疫・アレルギー学実験						増山 敬祐 <平成30年4月> 医学博士
専	教授	大西 洋 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		画像診断医学特論 放射線腫瘍学特論 放射線腫瘍学演習 放射線腫瘍学実験						大西 洋 <平成30年4月> 博士(医学)
専	教授	上木 耕一郎 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	専	教授	専	教授
		再生・再建医学特論 顎口腔領域再建術特論 顎口腔領域再建術演習 顎口腔領域再建術実験						上木 耕一郎 <平成30年4月> 博士(医学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松田 兼一 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	松田 兼一 <平成30年4月> 博士(医学)			
		生体管理・治療学特論 救急集中治療医学特論 救急集中治療医学演習 救急集中治療医学実験			生体管理・治療学特論 救急集中治療医学特論 救急集中治療医学演習 救急集中治療医学実験			
専	教授	井上 克枝 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	井上 克枝 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	井上 克枝 <平成30年4月> 博士(医学)
		循環器生物医学特論 血管生物学特論 血管生物学演習 血管生物学実験			循環器生物医学特論 血管生物学特論 血管生物学演習 血管生物学実験			循環器生物医学特論 血管生物学特論 血管生物学演習 血管生物学実験
専	教授	佐藤 弥 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	佐藤 弥 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	佐藤 弥 <平成30年4月> 博士(医学)
		医療情報学特論 診療支援システム特論 診療支援システム演習 診療支援システム実験			医療情報学特論 診療支援システム特論 診療支援システム演習 診療支援システム実験			医療情報学特論 診療支援システム特論 診療支援システム演習 診療支援システム実験
専	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士	専	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士	専	教授(副学長)	岩崎 甫 <平成30年4月> 医学博士
		科学者倫理学 医療情報学特論 創薬・医療技術開発学特論 臨床研究の実際特論 臨床研究の実際演習 臨床研究の実際実験			科学者倫理学 医療情報学特論 創薬・医療技術開発学特論 臨床研究の実際特論 臨床研究の実際演習 臨床研究の実際実験			科学者倫理学 医療情報学特論 創薬・医療技術開発学特論 臨床研究の実際特論 臨床研究の実際演習 臨床研究の実際実験
専	教授	齋藤 正夫 <平成30年4月> 博士(歯学)	専	教授	齋藤 正夫 <平成30年4月> 博士(歯学)	専	教授	齋藤 正夫 <平成30年4月> 博士(歯学)
		基礎腫瘍学特論 分子細胞機能学特論 分子細胞機能学演習 分子細胞機能学実験			基礎腫瘍学特論 分子細胞機能学特論 分子細胞機能学演習 分子細胞機能学実験			基礎腫瘍学特論 分子細胞機能学特論 分子細胞機能学演習 分子細胞機能学実験
専	教授	小口 敏夫 <平成30年4月> 薬学博士	専	教授	小口 敏夫 <平成30年4月> 薬学博士	専	教授	小口 敏夫 <平成30年4月> 薬学博士
		分子医科学特論 臨床薬理学特論 臨床薬理学演習 臨床薬理学実験			分子医科学特論 臨床薬理学特論 臨床薬理学演習 臨床薬理学実験			分子医科学特論 臨床薬理学特論 臨床薬理学演習 臨床薬理学実験
専	教授	川村 龍吉 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	川村 龍吉 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	川村 龍吉 <平成30年4月> 博士(医学)
		免疫学特論 応用免疫学特論 応用免疫学演習 応用免疫学実験			免疫学特論 応用免疫学特論 応用免疫学演習 応用免疫学実験			免疫学特論 応用免疫学特論 応用免疫学演習 応用免疫学実験
専	教授	市川 大輔 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	市川 大輔 <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	市川 大輔 <平成30年4月> 博士(医学)
		消化器手術後の再建特論 消化器手術後の再建演習 消化器手術後の再建実験			肝病態医学特論 消化器手術後の再建特論 消化器手術後の再建演習 消化器手術後の再建実験			肝病態医学特論 消化器手術後の再建特論 消化器手術後の再建演習 消化器手術後の再建実験
専	教授	秋山 真治 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	秋山 真治 <平成30年4月> 理学博士	専	教授	秋山 真治 <平成30年4月> 理学博士
		非線形解析学特論 非線形解析学演習 非線形解析学実験			非線形解析学特論 非線形解析学演習 非線形解析学実験			非線形解析学特論 非線形解析学演習 非線形解析学実験
専	准教授	鈴木 章司 <平成30年4月> 医学博士	専	教授	鈴木 章司 <平成30年4月> 医学博士	専	教授	鈴木 章司 <平成30年4月> 医学博士
		循環器生物医学特論			循環器生物医学特論			循環器生物医学特論
専	准教授	猩々 英紀 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	猩々 英紀 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	猩々 英紀 <平成30年4月> 博士(医学)
		分子医科学特論 血液遺伝学特論 血液遺伝学演習 血液遺伝学実験			分子医科学特論 血液遺伝学特論 血液遺伝学演習 血液遺伝学実験			分子医科学特論 血液遺伝学特論 血液遺伝学演習 血液遺伝学実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	江幡 重人 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	江幡 重人 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	江幡 重人 <平成30年4月> 博士(医学)			
		再生・再建医学特論			再生・再建医学特論			再生・再建医学特論			
専	准教授	佐藤 公 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	佐藤 公 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	佐藤 公 <平成30年4月> 博士(医学)			
		画像診断医学特論			画像診断医学特論			画像診断医学特論			
専	講師	河野 寛 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	河野 寛 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	河野 寛 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	河野 寛 <平成30年4月> 博士(医学)
		消化器手術後の再建演習			消化器手術後の再建演習			消化器手術後の再建演習			消化器手術後の再建演習
専	講師	中村 勇規 <平成30年4月> 博士(医科学)	専	准教授	中村 勇規 <平成30年4月> 博士(医科学)	専	准教授	中村 勇規 <平成30年4月> 博士(医科学)	専	准教授	中村 勇規 <平成30年4月> 博士(医科学)
		シグナル伝達研究演習			シグナル伝達研究演習			シグナル伝達研究演習			シグナル伝達研究演習
専	講師	古屋 文彦 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	古屋 文彦 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	古屋 文彦 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	古屋 文彦 <平成30年4月> 博士(医学)
		腎臓内科学演習			腎臓内科学演習			腎臓内科学演習			腎臓内科学演習 腎臓内科学特論 腎臓内科学演習 腎臓内科学実験
専	講師	松原 寛知 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	松原 寛知 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	松原 寛知 <平成30年4月> 博士(医学)	専	准教授	松原 寛知 <平成30年4月> 博士(医学)
		外科的画像診断学演習			外科的画像診断学演習			外科的画像診断学演習			外科的画像診断学演習
専	講師	三宅 邦夫 <平成30年4月> 博士(医科学)	専	准教授	三宅 邦夫 <平成30年4月> 博士(医科学)	専	准教授	三宅 邦夫 <平成30年4月> 博士(医科学)	専	准教授	三宅 邦夫 <平成30年4月> 博士(医科学)
		臨床疫学演習			臨床疫学演習			臨床疫学演習			臨床疫学演習
専	講師	三枝 岳志 <平成30年4月> 医学博士	専	講師	三枝 岳志 <平成30年4月> 医学博士	専	講師	三枝 岳志 <平成30年4月> 医学博士	専	講師	三枝 岳志 <平成30年4月> 医学博士
		分子医科学特論 自律神経生理学特論 自律神経生理学演習 自律神経生理学実験			分子医科学特論 自律神経生理学特論 自律神経生理学演習 自律神経生理学実験			分子医科学特論 自律神経生理学特論 自律神経生理学演習 自律神経生理学実験			分子医科学特論 自律神経生理学特論 自律神経生理学演習 自律神経生理学実験
専	講師	高野 勝弘 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	高野 勝弘 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	高野 勝弘 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	高野 勝弘 <平成30年4月> 博士(医学)
		血管生物学演習			血管生物学演習			血管生物学演習			血管生物学演習
専	講師	尾畑 純栄 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	尾畑 純栄 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	尾畑 純栄 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	尾畑 純栄 <平成30年4月> 博士(医学)
		循環病態学演習			循環病態学演習			循環病態学演習			循環病態学演習
専	講師	川端 健一 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	川端 健一 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	川端 健一 <平成30年4月> 博士(医学)			
		循環病態学演習			循環病態学演習			循環病態学演習			
専	講師	井上 泰輔 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	井上 泰輔 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	井上 泰輔 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	井上 泰輔 <平成30年4月> 博士(医学)
		肝炎ウイルス病態学演習			肝炎ウイルス病態学演習			肝炎ウイルス病態学演習			肝炎ウイルス病態学演習
専	講師	前川 仲裁 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	前川 仲裁 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	前川 仲裁 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	前川 仲裁 <平成30年4月> 博士(医学)
		肝炎ウイルス病態学演習			肝炎ウイルス病態学演習			肝炎ウイルス病態学演習			肝炎ウイルス病態学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	荻原 雅和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	金丸 和也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	猪爪 隆史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	三井 広 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	玉置 寿男 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		老年精神医学演習
専	講師	飯嶋 哲也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		麻酔管理法演習
専	講師	大森 真紀子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	奈良 政敏 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	安藤 隆 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		運動器官再建術演習
専	講師	吉澤 邦夫 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		顎口腔領域再建術演習
専	講師	松岡 伴和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		上気道粘膜免疫・アレルギー学演習
専	講師	神家満 学 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	澤田 智史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	三森 徹 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		血液内科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	荻原 雅和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	金丸 和也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	猪爪 隆史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	三井 広 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	玉置 寿男 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		老年精神医学演習
専	講師	飯嶋 哲也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		麻酔管理法演習
専	講師	大森 真紀子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	奈良 政敏 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	安藤 隆 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		運動器官再建術演習
専	講師	吉澤 邦夫 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		顎口腔領域再建術演習
専	講師	松岡 伴和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		上気道粘膜免疫・アレルギー学演習
専	講師	神家満 学 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	澤田 智史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	三森 徹 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		血液内科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	荻原 雅和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	金丸 和也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	猪爪 隆史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	三井 広 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	玉置 寿男 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		老年精神医学演習
専	講師	飯嶋 哲也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		麻酔管理法演習
専	講師	大森 真紀子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	奈良 政敏 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	安藤 隆 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		運動器官再建術演習
専	講師	吉澤 邦夫 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		顎口腔領域再建術演習
専	講師	松岡 伴和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		上気道粘膜免疫・アレルギー学演習
専	講師	神家満 学 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	澤田 智史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	三森 徹 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		血液内科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	荻原 雅和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	金丸 和也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		脳神経外科学演習
専	講師	三井 広 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		応用免疫学演習
専	講師	玉置 寿男 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		老年精神医学演習
専	講師	飯嶋 哲也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		麻酔管理法演習
専	講師	大森 真紀子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	奈良 政敏 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		分子生殖医学演習
専	講師	安藤 隆 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		再生・再建医学特論 運動器官再建術演習
専	准教授	吉澤 邦夫 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		顎口腔領域再建術演習
専	講師	松岡 伴和 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		上気道粘膜免疫・アレルギー学演習
専	講師	神家満 学 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	澤田 智史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		下部尿路機能障害演習
専	講師	三森 徹 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		血液内科学演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	金村 英秋 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	金村 英秋 <平成30年4月> 博士(医学)						
		小児血液学演習			小児血液学演習						
専	講師	合井 久美子 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	合井 久美子 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	合井 久美子 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	合井 久美子 <平成30年4月> 博士(医学)
		小児血液学演習			小児血液学演習			小児血液学演習			小児血液学演習
専	講師	石黒 浩毅 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	石黒 浩毅 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	石黒 浩毅 <平成30年4月> 博士(医学)	専	講師	石黒 浩毅 <平成30年4月> 博士(医学)
		生命倫理学特論			生命倫理学特論			生命倫理学特論			生命倫理学特論
専	講師	金重 勝博 <平成30年4月> 医学博士									
		腎臓内科学演習									
						専	教授	鈴木 健文 <平成30年9月> 博士(医学)	専	教授	鈴木 健文 <平成30年9月> 博士(医学)
								生命倫理学特論 老年精神医学特論 老年精神医学演習 老年精神医学実践			生命倫理学特論 老年精神医学特論 老年精神医学演習 老年精神医学実践
						専	講師	土屋 恭一郎 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	土屋 恭一郎 <平成31年4月> 博士(医学)
								腎臓内科学演習			腎臓内科学演習
						専	講師	上村 拓治 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	上村 拓治 <平成31年4月> 博士(医学)
								老年精神医学演習			老年精神医学演習
						専	講師	井上 慎吾 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	井上 慎吾 <平成31年4月> 博士(医学)
								消化器手術後の再建演習			消化器手術後の再建演習
						専	講師	榑原 賢士 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	榑原 賢士 <平成31年4月> 博士(医学)
								外科的画像診断学演習			外科的画像診断学演習
						専	講師	加賀 重亜喜 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	加賀 重亜喜 <平成31年4月> 博士(医学)
								外科的画像診断学演習			外科的画像診断学演習
						専	講師	市川 二郎 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	市川 二郎 <平成31年4月> 博士(医学)
								運動器官再建術演習			運動器官再建術演習
						専	講師	櫻田 庸一 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	櫻田 庸一 <平成31年4月> 博士(医学)
								視機能障害疾患演習			視機能障害疾患演習
						専	講師	階井 明德 <平成31年4月> 博士(医学)	専	講師	階井 明德 <平成31年4月> 博士(医学)
								顎口腔領域再建術演習			顎口腔領域再建術演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年 4月＞ 医学博士 科学者倫理学 下部尿路機能障害特論 下部尿路機能障害演習 下部尿路機能障害実験
兼担	教授	山縣 然太郎 ＜平成30年 4月＞ 博士(医学) 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅱ 生命倫理学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年 4月＞ 医学博士 科学者倫理学 下部尿路機能障害特論 下部尿路機能障害演習 下部尿路機能障害実験
兼担	教授	山縣 然太郎 ＜平成30年 4月＞ 博士(医学) 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅱ 生命倫理学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	沢登 恵美 ＜平成31年 4月＞ 医学博士 小児血液学演習
専	講師	久保 智広 ＜平成31年 4月＞ 博士(理学) 構造生物学演習
専	講師	川井田 博充 ＜令和元年 7月＞ 博士(医学) 消化器手術後の再建演習
専	講師	大石 直輝 ＜令和元年 7月＞ 博士(医学) 内分泌病理学演習
専	教授	櫻井 大樹 ＜令和元年10月＞ 博士(医学) 上気道粘膜免疫・アレルギー学演習 上気道粘膜免疫・アレルギー学実験
兼担	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年 4月＞ 医学博士 科学者倫理学 下部尿路機能障害特論 下部尿路機能障害演習 下部尿路機能障害実験
兼担	教授	山縣 然太郎 ＜平成30年 4月＞ 博士(医学) 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅱ 生命倫理学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	沢登 恵美 ＜平成31年 4月＞ 医学博士 小児血液学演習
専	講師	久保 智広 ＜平成31年 4月＞ 博士(理学) 構造生物学演習
専	講師	川井田 博充 ＜令和元年 7月＞ 博士(医学) 消化器手術後の再建演習
専	講師	大石 直輝 ＜令和元年 7月＞ 博士(医学) 内分泌病理学演習
専	教授	櫻井 大樹 ＜令和元年10月＞ 博士(医学) 免疫学特論 上気道粘膜免疫・アレルギー学特論 上気道粘膜免疫・アレルギー学演習 上気道粘膜免疫・アレルギー学実験
専	准教授	佐々木 知幸 ＜令和 2年 4月＞ 博士(医学) 血管生物学演習
専	講師	築地 長治 ＜令和 2年 4月＞ 博士(生命科学) 血管生物学演習
専	講師	石井 裕貴 ＜令和 2年 4月＞ 博士(医学) 上気道粘膜免疫・アレルギー学演習
専	講師	山口 達也 ＜令和 2年 4月＞ 博士(医学) 画像診断医学特論
兼担	教授(副学長)	武田 正之 ＜平成30年 4月＞ 医学博士 科学者倫理学 下部尿路機能障害特論 下部尿路機能障害演習 下部尿路機能障害実験
兼担	教授	山縣 然太郎 ＜平成30年 4月＞ 博士(医学) 先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ 医療データ解析・臨床疫学特論Ⅱ 生命倫理学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	小泉 修一 <平成30年4月> 薬学博士	兼任	教授	小泉 修一 <平成30年4月> 薬学博士	兼任	教授	小泉 修一 <平成30年4月> 薬学博士
		先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論						
兼任	教授	川原 敦雄 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川原 敦雄 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川原 敦雄 <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 循環器生物医学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 循環器生物医学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 循環器生物医学特論
兼任	教授	大塚 稔久 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大塚 稔久 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	大塚 稔久 <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論
兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	教授	喜多村 和郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医工農総合特論 神経科学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医工農総合特論 神経科学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 医工農総合特論 神経科学特論
兼任	教授	中本 和典 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	教授	中本 和典 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	教授	中本 和典 <平成30年4月> 博士(理学)
		先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ
兼任	教授	宇賀 貴紀 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	宇賀 貴紀 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	教授	宇賀 貴紀 <平成30年4月> 博士(医学)
		先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論			先端基礎医学セミナーⅠ 先端基礎医学セミナーⅡ 神経科学特論
兼任	准教授	石原 裕 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	石原 裕 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	石原 裕 <平成30年4月> 博士(医学)
		臨床腫瘍学特論			臨床腫瘍学特論			臨床腫瘍学特論
兼任	准教授	北間 敏弘 <平成30年4月> 医学博士	兼任	准教授	北間 敏弘 <平成30年4月> 医学博士	兼任	准教授	北間 敏弘 <平成30年4月> 医学博士
		神経科学特論			神経科学特論			神経科学特論
兼任	准教授	姚 建 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	姚 建 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	姚 建 <平成30年4月> 博士(医学)
		腎病態医学特論			腎病態医学特論			腎病態医学特論
兼任	准教授	川瀧 智之 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	川瀧 智之 <平成30年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	川瀧 智之 <平成30年4月> 博士(医学)
		基礎腫瘍学特論			基礎腫瘍学特論			基礎腫瘍学特論
兼任	准教授	成田 啓之 <平成30年4月> D.Phil in Biochemistry (英国)	兼任	准教授	成田 啓之 <平成30年4月> D.Phil in Biochemistry (英国)	兼任	准教授	成田 啓之 <平成30年4月> D.Phil in Biochemistry (英国)
		神経科学特論			神経科学特論			神経科学特論
兼任	准教授	西郷 達彦 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	西郷 達彦 <平成30年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	西郷 達彦 <平成30年4月> 博士(理学)
		医療情報学特論			医療情報学特論			医療情報学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授(副学長)	早川 正幸 ＜平成30年4月＞ 博士(農学)	兼任	教授(副学長)	兼任	教授(副学長)	兼任	教授(副学長)
		科学者倫理学 医工農総合特論						
兼任	教授(副学長)	杉山 俊幸 ＜平成30年4月＞ 工学博士	兼任	教授(副学長)	兼任	教授(副学長)	兼任	教授(副学長)
		科学者倫理学						
兼任	教授	黒澤 尋 ＜平成30年4月＞ 学術博士	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		科学者倫理学 医工農総合特論						
兼任	教授	豊木 博泰 ＜平成30年4月＞ 工学博士	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		医工農総合特論						
兼任	准教授	筒井 宏彰 ＜平成30年4月＞ 理学士						
		医工農総合特論						
兼任	教授	堀 裕和 ＜平成30年4月＞ 工学博士	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		創薬・医療技術開発学特論						
兼任	教授	楠木 正巳 ＜平成30年4月＞ 理学士						
		創薬・医療技術開発学特論						
兼任	准教授	宇野 和行 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	兼任	准教授	兼任	准教授	兼任	准教授
		創薬・医療技術開発学特論						
兼任	准教授	神沼 修 ＜平成30年4月＞ 博士(獣医学)	兼任	准教授				
		応用生体防御学特論						
兼任	准教授	笠井 剛 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	兼任	准教授				
		臨床生殖医学特論						
兼任	教授	宮村 季浩 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		生活健康学特論						
兼任	教授	風間 ふたば ＜平成30年4月＞ 工学博士	兼任	教授	兼任	教授(副学長)		
		国際環境技術特論						
兼任	教授	西田 継 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		国際環境技術特論						
兼任	准教授	石平 博 ＜平成30年4月＞ 博士(工学)	兼任	准教授	兼任	教授	兼任	教授
		国際環境技術特論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	谷本 守正 <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	教授	谷本 守正 <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	教授	谷本 守正 <平成30年4月> 博士(農学)			
		食品加工・栄養学特論			食品加工・栄養学特論			食品加工・栄養学特論			
兼任	教授	望月 和樹 <平成30年4月> 博士(食品栄養科学)	兼任	教授	望月 和樹 <平成30年4月> 博士(食品栄養科学)	兼任	教授	望月 和樹 <平成30年4月> 博士(食品栄養科学)	兼任	教授	望月 和樹 <平成30年4月> 博士(食品栄養科学)
		食品加工・栄養学特論			食品加工・栄養学特論			食品加工・栄養学特論			食品加工・栄養学特論
			兼任	准教授	白井 隆之 <平成30年4月> 学士(理学)	兼任	准教授	白井 隆之 <平成30年4月> 学士(理学)			
					医工農総合特論			医工農総合特論			
			兼任	准教授	大山 拓次 <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	大山 拓次 <平成30年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	大山 拓次 <平成30年4月> 博士(農学)
					創薬・医療技術開発学特論			創薬・医療技術開発学特論			創薬・医療技術開発学特論
									兼任	教授	舟根 和美 <令和2年4月> 博士(農学)
											食品加工・栄養学特論
									兼任	准教授	升井 伸治 <令和2年4月> 博士(理学)
											応用生体防御学特論
						兼任	講師	神沼 修 <平成31年4月> 博士(獣医学)			
								応用生体防御学特論			
									兼任	講師	笠井 剛 <令和2年4月> 博士(医学)
											臨床生殖医学特論
									兼任	講師	神田 浩史 <令和2年4月> 学士(農学)
											国際環境技術特論
									兼任	講師	緒方 隆二 <令和2年4月> 修士(工学)
											国際環境技術特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

(専任教員)

- ・市川大輔 教授：「肝病態医学特論」を担当授業科目に追加。
- ・三井貴彦 准教授：「下部尿路機能障害特論」、「下部尿路機能障害演習」、「下部尿路機能障害実験」を担当授業科目に追加。
- ・鈴木章司 教授：昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
- ・河野寛 准教授：昇任に伴い、講師から准教授に職名変更。
- ・中村勇規 准教授：昇任に伴い、講師から准教授に職名変更。
- ・古屋文彦 准教授：昇任に伴い、講師から准教授に職名変更。
- ・松原寛知 准教授：昇任に伴い、講師から准教授に職名変更。
- ・三宅邦夫 准教授：昇任に伴い、講師から准教授に職名変更。
- ・金重勝博 講師：専任教員就任辞退（後任未定）。

(兼任教員)

- ・筒井宏彰准教授の就任辞退により、白井隆之准教授に変更。
- ・楠木正巳教授の就任辞退により、大山拓次准教授に変更。

【令和元年度】

(専任教員)

- ・犬飼岳史 教授：平成30年8月昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
- ・近藤哲夫 教授：平成30年12月昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
- ・飯島裕幸 教授：定年退職（後任未定）。
- ・増山敬祐 教授：定年退職（後任未定）。
- ・布村明彦 准教授：平成30年8月辞職（後任未定）。
- ・上條篤 准教授：平成30年7月辞職（後任未定）。
- ・三森徹 講師：平成31年3月辞職（後任未定）。
- ・鈴木健文 教授：平成30年9月就任（教員審査省略）。
- ・土屋恭一郎 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）※金重勝博 講師就任辞退後の後任。
- ・上村拓治 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・井上慎吾 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・榊原賢士 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・加賀重亜喜 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・市川二郎 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・櫻田庸一 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・諸井明德 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・館野泰 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・沢登恵美 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。
- ・久保智広 講師：平成31年4月就任（教員審査省略）。

(兼任教員)

- ・神沼修 准教授：平成31年3月辞職（平成31年4月より兼任教員へ変更）。
- ・風間ふたば 教授：副学長就任に伴い、職名に（副学長）を追加。
- ・石平博 教授：平成31年4月昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。

【令和2年度】

(専任教員)

- ・三井貴彦 教授：令和2年4月昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。
- ・柏木賢治 教授：令和元年11月昇任に伴い、准教授から教授に職名変更。「視覚障害特論」、「視覚障害演習」、「視覚障害実験」を担当授業科目に追加。
- ・飯島裕幸 教授：定年退職後の後任。
- ・吉澤邦夫 准教授：令和2年4月昇任に伴い、講師から准教授に職名変更。
- ・松川 隆 教授：「救急集中治療医学特論」、「救急集中治療医学演習」、「救急集中治療医学実験」を担当授業科目に追加。
- ・古屋文彦 准教授：「腎病態医学特論」、「腎臓内科学特論」、「腎臓内科学実験」を担当授業科目に追加。
- ・安藤 隆 講師：「再生・再建医学特論」を担当授業科目に追加。
- ・北村健一郎 教授：令和元年7月辞職（後任未定）。
- ・松田兼一 教授：令和元年9月辞職（後任未定）。
- ・本杉宇太郎 准教授：令和2年3月辞職（後任未定）。
- ・江幡重人 准教授：令和2年3月辞職（後任未定）。
- ・佐藤 公 准教授：令和2年3月辞職（後任未定）。
- ・猪爪隆史 講師：令和2年3月辞職（後任未定）。
- ・金村英秋 講師：令和元年7月辞職（後任未定）。
- ・館野 泰 講師：令和元年6月辞職（後任未定）。
- ・川端健一 講師：令和2年4月異動（後任未定）。
- ・櫻井大樹 教授：令和元年10月就任（教員審査省略）。
- ・川井田博充 講師：令和元年7月就任（教員審査省略）。
- ・大石直輝 講師：令和元年7月就任（教員審査省略）。
- ・佐々木知幸 准教授：令和2年4月就任（教員審査省略）。
- ・築地長治 講師：令和2年4月就任（教員審査省略）。
- ・石井裕貴 講師：令和2年4月就任（教員審査省略）。
- ・山口達也 講師：令和2年4月就任（教員審査省略）。

(兼任教員)

- ・白井隆之 准教授：令和2年3月辞職（後任未定）。
- ・笠井 剛 准教授：令和元年7月辞職。令和2年4月兼任教員就任。
- ・風間ふたば 教授：令和2年3月就任辞退により、神田浩史講師（兼任教員）、緒方隆二講師（兼任教員）に変更。
- ・谷本守正 教授：令和2年3月定年退職により、舟根和美教授に変更。

(兼任教員)

- ・神沼 修 講師：令和2年3月就任辞退により、升井伸治准教授（兼任教員）に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
30	20	30
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
30	15	29	0	74	0	33	12	33	0	78	0
(31)	(19)	(23)	0	(73)	0						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
42	27	5				40	18	20			
(42)	(26)	(5)				(42)	(26)	(5)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
33	12	33	0	78	0	33	13	33	0	79	0
[3]	[Δ3]	[4]	[0]	[4]	0	[3]	[Δ2]	[4]	[0]	[5]	0
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
40	18	20				40	19	20			
[Δ2]	[Δ9]	[15]				[Δ2]	[Δ8]	[15]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{78}{74} = \boxed{105.4} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{78} = \boxed{1.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	金重 勝博	H30.3	選択	腎臓内科学演習	①	自己都合（クリニックみらい国立採用）のため就任辞退（30）			
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	上條 篤	H30.7	選択	免疫学特論	①	自己都合（埼玉医科大学病院採用）のため就任辞退（元）			
2	准教授	布村 明彦	H30.8	必修	生命倫理学特論	①	自己都合（東京慈恵会医科大学採用）のため就任辞退（元）			
				選択	老年精神医学特論	①				
				選択	老年精神医学演習	①				
				選択	老年精神医学実験	①				
3	講師	三森 徹	H31.3	選択	血液内科学演習	①	自己都合（東京血液疾患診療所採用）のため就任辞退（元）			
4	講師	館野 泰	R元.6	選択	視機能障害疾患演習	①	自己都合（たての眼科開業）のため就任辞退（2）			
5	教授	北村 健一郎	R元.7	選択	腎病態医学特論	①	自己都合（未定）のため就任辞退（2）			
				選択	腎臓内科学特論	①				
				選択	腎臓内科学演習	①				
				選択	腎臓内科学実験	①				
6	講師	金村 英秋	R元.7	選択	小児血液学演習	①	自己都合（東邦大学医療センター佐倉病院採用）のため就任辞退（2）			
7	教授	松田 兼一	R元.9	選択	生体管理・治療学特論	①	自己都合（八王子北クリニック採用）のため就任辞退（2）			
				選択	救急集中治療医学特論	①				
				選択	救急集中治療医学演習	①				
				選択	救急集中治療医学実験	①				
8	准教授	江幡 重人	R2.3	選択	再生・再建医学特論	①	自己都合（国際医療福祉大学成田病院採用）のため就任辞退（2）			
9	准教授	佐藤 公	R2.3	選択	画像診断医学特論	①	自己都合（地域医療機能推進機構山梨病院採用）のため就任辞退（2）			
10	准教授	本杉 宇太郎	R2.3	選択	画像診断医学特論	①	自己都合（甲府共立病院採用）のため就任辞退（2）			
				選択	放射線診断学特論	①				
				選択	放射線診断学演習	①				
				選択	放射線診断学実験	①				
11	講師	猪爪 隆史	R2.3	選択	応用免疫学演習	①	自己都合（千葉大学採用）のため就任辞退（2）			
12	講師	川端 健一	R2.4	選択	循環病態学演習	①	異動（山梨大学臨床実習センター）のため就任辞退（2）			
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
12	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	23	科目	選択	23	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	24	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
13 人	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	24 科目	選択	24 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{13}{74} = 17.56 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	飯島 裕幸	選択	視覚障害特論	①	H31.3 定年退職のため(元)		
			選択	視覚障害演習	①			
			選択	視覚障害実験	①			
2	教授	増山 敬祐	選択	上気道粘膜免疫・アレルギー-学特論	①	H31.3 定年退職のため(元)		
			選択	上気道粘膜免疫・アレルギー-学演習	①			
			選択	上気道粘膜免疫・アレルギー-学実験	①			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	6 科目	計	6 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 自己都合による辞職者(11名)、異動者(1名)、定年退職者(2名)の担当科目は、他の専任教員が担当している。
- ・ 自己都合による辞職者(1名)の担当科目は、後任未定だが、就任の際は専任教員として担当する。また、学生は指導教員が担当する科目を受講することになっており、退職時に指導教員になっている学生がいなかったため履修上は問題ないとする。なお、次年度については、募集要項に記載されている指導教員一覧から削除しているので履修する学生はいないとする。
- ・ 学生に対しては、ガイダンス等で周知済みである。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医工農学総合教育部 医学専攻（博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>【全学組織】 大学教育センターFD部門（別紙1「大学教育センター細則」、別紙2：「大学教育センター部門要項」）</p> <p>【医学域】 医学部キャンパス教育FD委員会（別紙3：「医学部キャンパス教育FD委員会規程」）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>【全学組織】 大学教育センターFD部門打合せ会議 3回（令和元年6月3日開催、令和元年10月15日～10月18日メール会議、令和元年10月31日～11月6日メール会議）委員11名</p> <p>【医学域】 医学部キャンパス教育FD委員会 3回（令和元年6月10日（月）開催、令和元年8月20日～26日メール会議、令和2年1月23日（木））委員8名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>【全学組織】 全学教育FD研修会の年度テーマ・計画・実施内容について、オンラインFD、教員参加率向上方法の検討等</p> <p>【医学域】 教育FD研修会の計画・実施・認定等について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【全学組織】 ・全学教育FD研修会の開催</p> <p>【医学域】 ・医学域教育FD研修会の開催</p> <p>b 実施方法</p> <p>【全学組織】 全学教育FD研修会（年7回実施。Moodleを利用したオンラインでの研修会記録動画配信も実施した。）</p> <p>【医学域】 医学部キャンパス教育FD研修会（年4回実施）</p>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【全学組織】

- ・全学教育FD研修会「内部質保証システム説明会」令和元年6月13日、令和元年6月20日、令和元年6月26日開催 220名参加
- ・全学教育FD研修会「反転授業とアクティブラーニングの実践事例報告会」令和元年7月24日開催 55名参加
- ・全学教育FD研修会「Moodle講習会」令和元年9月24日、令和元年9月27日、令和元年11月27日、令和2年2月13日開催 70名参加
- ・全学教育FD研修会「内部質保証システムと数理・データサイエンス教育」令和元年10月3日開催 79名参加
- ・全学教育FD研修会「山梨大学優秀教育賞受賞記念講演」令和元年12月3日開催 42名参加
- ・全学教育FD研修会「発達障がいを抱える学生への指導・対応について」令和元年12月19日開催 62名参加
- ・全学教育FD研修会「緊急対策としての授業のオンライン化」令和2年3月24日～令和2年4月3日開催（オンライン実施）81名参加

【医学域】

- ・教育FD研修会 「Post-CC OSCEの基礎知識 ～2019年全国トライアル 2020年正式実施に向けて～」令和元年5月8日開催 47名参加
- ・教育FD研修会 「慈恵医大の医学教育カリキュラム」令和元年7月18日開催 20名参加
- ・教育FD研修会 「カリキュラム改正に向けた現行カリキュラムの検討」令和元年9月6日 23名参加
- ・教育FD研修会 「医学教育 - その社会的責任 - 」令和2年2月12日開催 23名参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会を通じて、現状の課題に関し、教員間で情報交換、意見交換を行い、講義の調整・工夫の共有、学生の理解度、関心度等を共有し、翌年度以降に反映することとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（6月～8月、12月～2月）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員には紙媒体で科目毎の授業評価結果を通知するが、学生に対しては公開していない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代社会において、先端科学技術の急速な発展を背景とした医療の高度専門化が進む一方で、少子高齢化が進行しており、医療を取り巻く環境は大きく変化している。健康長寿社会の実現のため、社会や医療現場のニーズの変遷に対応できるような深い専門性と医工農の学際性を備えた人材を育成する目的で、従来の医学系2専攻（先進医療科学専攻・生体制御学専攻）を統合して大学院博士課程「医学専攻」を設置した。

令和元年度の入学者の必修科目の単位修得率は60～80%と前年度よりも低下した。一方、創薬・医療技術開発学特論のように他専攻の教員と合同で行う学際的な科目をはじめ、専門性の高い選択科目は、どの科目もよく履修されていた。改組後の大学院の教育が有効に機能しているものと考えている。

令和2年度は20名の定員に対して28名の応募があり、最終的に27名の入学者を迎え、定員を充足することができた。なかでも、基礎系講座所属の大学院生は平成30年度は0名、令和元年度は3名であったが、本年度は6名まで増加した。また、留学生（中国、ベトナム）の受け入れも2名、5名、7名と年を追って増加している。現在までのところ、医学専攻の運営は順調である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年6月頃 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和4年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の機関別認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

- b 公表（予定）時期 [令和3年3月公開予定]

- c 公表方法 [大学ホームページへ掲載]

《 a で公表「無」の場合 》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○ 山梨大学大学教育センター細則

制定 平成27年 7月28日
改正 平成29年 3月27日
平成31年 3月27日

(趣旨)

第1条 この細則は、国立大学法人山梨大学基本規則第38条第2項の規定に基づき、山梨大学大学教育センター（以下「センター」という。）に関し、必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、山梨大学（以下「本学」という。）における、教育方法の改善や教育の質保証のための取組みを企画し実施することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 教育の質保証に関すること。
- (2) 教育評価に関すること。
- (3) 全学的なFDの企画立案、実施及び評価に関すること。
- (4) 教育環境の情報化に関すること。
- (5) 他機関との教育連携に関すること。
- (6) その他第2条の目的を達成するために必要な事項

(部門)

第4条 センターに次の部門を置く。

- (1) FD部門
- (2) 教育ICT部門
- (3) 教学IR部門
- (4) 教育改善部門

2 部門に関し必要な事項は、別に定める。

(組織)

第5条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
- (2) 専任教員
- (3) 協力教員
- (4) その他必要な職員

(センター長)

第6条 センター長は、本学の専任教員の中から学長が指名する。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(副センター長)

第7条 センターに、副センター長を置くことができる。

2 副センター長は、本学の専任教員の中から、センター長の推薦に基づき、学長が指名する。

3 副センター長は、センター長の職務を補佐する。

4 副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長の任期を超える

ことはできない。

(専任教員)

第8条 専任教員は、センターの業務を処理する。

(協力教員)

第9条 協力教員は、本学の専任教員の中から、センター長の推薦に基づき、学長が指名する。

(審議組織)

第10条 センターの管理運営に関する重要事項の審議は、山梨大学教育国際化推進機構協議会(以下「協議会」という。)において行う。

2 前項に規定するもののほか、センターの業務に関し必要な事項の審議は、山梨大学教育企画委員会において行う。

(センター連絡会)

第11条 センター長は、業務の遂行に必要な事項の検討及び調整を行うため、センター職員によるセンター連絡会を開催することができる。

(庶務)

第12条 センターに関する庶務は、教学支援部教務企画課において処理する。

(雑則)

第13条 この細則に定めるもののほか、センターの運営に関し重要な事項は、協議会の議を経てセンター長が定める。

附 則

1 この細則は、平成27年7月28日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

2 山梨大学大学教育センター規程(平成26年3月28日制定)は、廃止する。

附 則

この細則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成31年4月1日から施行する。

○ 山梨大学大学教育センター部門要項

制定 平成29年 3月15日

(趣旨)

第1条 この要項は、山梨大学大学教育センター細則（以下「細則」という。）第4条に規定する山梨大学大学教育センター（以下「センター」という。）の各部門に関し必要な事項を定める。

(業務)

第2条 各部門は、次の業務を、他の部門と相互に連携・協力して実施する。

- (1) F D部門は、細則第3条第3号に定める業務に関する事。
 - (2) 教育 I C T部門は、細則第3条第4号に定める業務に関する事。
 - (3) 教学 I R部門は、細則第3条第1号及び第2号に定める業務に関する事。
 - (4) 教育改善部門は、細則第3条第1号、第2号及び第5号に定める業務に関する事。
- 2 前項の業務を円滑に実施するため、各部門は必要に応じて部門打合せ会議を開催する。

(構成員)

第3条 各部門は、次の者で構成する。

- (1) 部門長
- (2) 細則第5条第2号に定める専任教員
- (3) 細則第9条に定める協力教員
- (4) その他、センター長が必要と認めた者

(部門長)

第4条 部門長は、本学の専任教員の中からセンター長の推薦に基づき、学長が指名する。

- 2 部門長は、当該部門の業務を掌理する。
- 3 部門長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、部門に関し必要な事項はセンター長が定める。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

○ 山梨大学医学部キャンパス教育FD委員会規程

制定 令和 元年 7月10日

(趣旨)

第1条 医学部キャンパスにおける教育の向上及び能力開発に関する恒常的な検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、山梨大学医学部に、医学部キャンパス教育FD（ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。））委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審議事項)

第2条 委員会は、医学部キャンパスにおける次の各号に掲げる事項について審議する。

- (1) 学部、大学院教育の組織的改善に関する事項
- (2) 教員の教育活動に係る専門能力向上のための企画及びその実施・評価に関する事項
- (3) 各部署で実施するFD活動の支援に関する事項
- (4) その他FD活動に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 総合医科学センター所属教員1名
- (2) 基礎医学系教員2名
- (3) 臨床医学系教員2名
- (4) 看護学系教員2名
- (5) その他委員会が必要と認めた者

(任期)

第4条 前条各号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員が欠員となった場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、医学部長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 4 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(議事)

第6条 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、医学域学務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

- 1 この規程は、令和元年7月10日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
- 2 医学部キャンパス教育FD委員会要項（平成28年9月7日制定）は、廃止する。